

桐山勉氏の講演 / Bapat Vinit 氏の講演 - 2014年3月度 ATIS 例会 -

3月19日、臨時総会に引き続き3月度の例会が開催されました。例会では二つの講演会が開催されました。

一つ目は、はやぶさ国際特許事務所顧問の桐山 勉先生による「桐山流哲学による特許情報解析レベルアップ」です。先生は現在、特許情報の分析・調査の分野の専門家として、国際的にも活動していらっしゃいます。今回、特許調査が有効に研究開発や事業に寄与するためには、重要な視点があり、独自に纏めた十か条の紹介頂きました。

講演は、桐山流独特の表現や実践も盛り込み、大変に勢力的なものでした。特許情報調査の事例を用いて分かり易く、マネジメント方法や指導の視点から調査員の心構えや基礎能力とその育成、テンプレート活用有効性、4分割納入の有効性、ビジョンとストーリーの重要性、一枚の絵で表現することの重要性など、理論、感性、心の志向・在り方に跨るものです。これらは特許情報の解析・分析に限らず、広範な業務にも有効なものでした。

二つ目は、(株)サンガムIP 社長 Bapat Vinit氏による「知財担当者が知っておくべき、インド特許を巡る現状とその対策」です。先生はインドで理工系修士取得後、東京大学で博士取得し、日本特許事務所で10年間勤務した後、同社を設立し、インド特許出願業務を仲立ちしています。大変に日本語の堪能な方です。

講演では、インドに1856年特許保護法が制定された以降の変遷から始まり、最近の出願や係争などの特許関連情報や、特許意匠商標総局の現状とその動きなどの紹介、インド特許法における留意点や注意点では日本との差異や特徴を分かり易く説明を頂いた。これらは、インド特許を担当する者にとって基盤の知識、情報でした。



桐山先生の講演



Bapat先生の講演